

会社名 ヤンマーアグリジャパン(株)
担当部署 農機推進部
連絡先 06-6376-6264

技術(機械)名: ロボットトラクター (ICT技術を活用した水稻栽培モデル)

概要

稲作経営規模拡大におけるオペレーター不足、技術伝承の課題に応えるべく、GNSSを活用した高精度な農作業を行うと同時に大幅な省力化、省人化を図る。

作物: 水稻

対象作業: 耕起、代掻き、施肥他

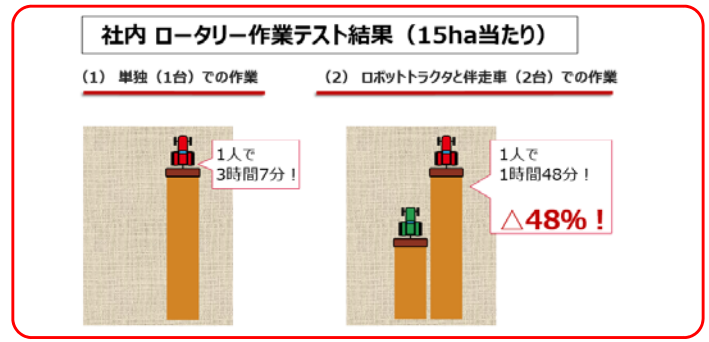
効果

標準装備のタブレットによりほ場や作業機の登録が行える。その情報をもとに作業経路が自動で作成され、オペレータのタッチ操作のみで設定された経路を自動で作業することが可能。長時間作業による疲労を大幅に軽減。


衛星(GNSS)と基地局からの補正情報で、2~3cm単位の高精度測位が可能。また、自治体設置の基地局だけでなく、オプションによるヤンマーの基地局では、半径1kmの範囲で位置情報取得をカバー。勤と経験に頼ることなく誰でも精度の高い作業が可能。

無人自動運転+随伴トラクターによる2台協調作業が可能で大幅な効率化を図ることができる。

写真、図表等




省力化・低コスト技術



オートトラクター



ロボットトラクター




密苗オート田植機

データを活用した営農支援




SA-Rシステム
(データ蓄積)



圃場センシング
(パラッキ・生育状況)



可変施肥(プロキヤス)



情報支援機能付コンバイン
(収量) * 水分はオプション



可変追肥(無人ヘリ)